

### 第3次社会貢献活動支援推進計画に基づく支援策

#### 基本方針Ⅰ 社会貢献活動団体の育成、活動の拡大

センター…高知県ボランティア・NPOセンター

とりまとめ：平成27年12月末日時点

実施項目	行動計画 (P)		取組目標	実行 (D)	評価 (C)	改善 (A)	H30年度の 目指すべき姿	実施 主体	
	行動計画の 項目	実施内容(計画上の記載)							具体的な取組内容
1 活動基盤の 整備	① 高知県ボラ ンティア・ NPOセン ターの機能 の拡充	社会貢献活動を推進するための拠点センターとして位置づけられており、支援策等の実施にあたっては、連携が不可欠である。 さらに、災害ボランティア団体のネットワーク構築や人材育成など、拠点センター機能の拡充を図る。	・高知県社会貢献活動拠点センターの機能拡充(運営費補助金の助成)	・センター運営費補助金の助成	・平成27年度補助金額:19,047千円 センターが効果的なNPO支援を行えるよう、専門職員の人件費やセンターが行うNPO向けの研修や広報活動への補助を行った。	・センターが実施する各事業については、それぞれの項目に記載。	計画に掲げる支援策を推進するため、センター運営費を引き続き助成する。	・効果的な研修等によるNPOの基盤強化と活動促進	県 (県民生活・男女共同参画課)
	② 活動場所として活用できる公共施設のデータ整備と情報提供	NPOの活動拠点や活動場所として使用できる公共施設等の情報を整理し、ホームページ等により情報提供する。	・県のHPでの情報提供(利用可能施設等) ・こうちボランティア・NPO情報システム「ピッピネット」での情報提供(助成金情報等)	・県のHP 【その都度更新】 ・ピッピネット 【その都度更新】	【県】 ・年度当初に公共施設の情報照会・取りまとめのうえ、HPで情報提供を実施  【センター】 ・ピッピネット及びピッピニュース(毎月発行)を通じて、情報提供を実施	【県】 ・公共施設等の情報収集使用不可施設や報告のない施設の把握	【県】 引き続き実施する。 現在HPに掲載済みの情報についての再確認等	・施設利用による活動の増加  ・NPO法人の20%以上が助成金収入を得る	県 (県民生活・男女共同参画課)  センター
	③ NPO法人に対する県税の優遇措置の実施	県税の優遇措置を、引き続き実施する。 (現在実施しているNPO法人に係る県税の課税免除) ○法人県民税均等割 ○特定非営利活動等に供するために無償で譲り受けた不動産に対する不動産取得税 ○社会福祉法に規定する社会福祉事業(保育所を除く)、介護保険法に規定する居宅サービス事業、その他県の指定する事業に供する自動車に対する自動車税 ○特定非営利活動等に供するために無償で譲り受けた自動車に対する自動車取得税	・既存の県税優遇措置を、引き続き実施	優遇措置について、引き続き実施。	○法人県民税…収益事業を行わないNPO法人は申告不要のため、全体の件数および金額は把握していない。 ○不動産取得税…0件、0円 ○自動車取得税…0件、0円 ○自動車税…31件、975,900円			優遇措置について、引き続き実施	県 (税務課)

実施項目	行動計画 (P)			取組目標	実行 (D)	評価 (C)	改善 (A)	H30年度の 目指すべき姿	実施 主体
	行動計画の 項目	実施内容(計画上の記載)	具体的な取組内容						
	④ NPO法人 会計基準の 普及	NPO法人の会計報告の質を高め、活動実態がよりわかりやすいものとなるよう、NPO法人会計基準の普及を推進する。 ※NPO法人会計基準 全国のNPO法人が統一したルールで会計報告を作成し、活動をわかりやすく伝え、信頼と支援を得られるように、NPO法人会計基準が策定された。	・会計基準の研修会の実施	【年1回開催】	・事業報告書等セミナーの開催(予定:2月19日)  ・2015年1月時点の導入率:約70%。	活動計算書導入率は70%。新会計前に設立された法人への移行奨励が十分ではない。	センターの持つ情報発信ツールで移行奨励及びそれに係る支援、相談を行い、統一した会計ルールでのNPOの情報公開を目指す。	・NPO法人の80%以上が、会計基準を導入	センター
	⑤ 中間支援組織の機能及びネットワークの強化(東部・西部)	東部地域、西部地域における中間支援組織の機能及びネットワークを強化することにより、より地域に根ざした支援体制を構築する。	・高知県東部ボランティア・NPO交流会の開催	【年2回開催】	・東部地域のNPOの交流会を開催。(10月20日)  ・四万十市及び香南市でそれぞれ市管内のNPOや行政等関係機関を集めネットワーク会議を行う。(予定:西部2月5日、東部3月3日)	地域のNPO同士のつながりが弱い状況にある。つながる必要性を感じていない可能性がある。	協働・連携によるNPOの発展を啓発し、ネットワーク化を進めていく。	・東部での中間支援組織設立	センター
2 財政基盤の整備	① 社会貢献活動団体に対する補助、助成等の機会の確保	行政が行う各種の補助事業等のうち、社会貢献活動団体が実施することで事業効果が期待されるものについては、積極的にその対象を拡大し、団体にも補助金等の活用の機会を確保する。	・県のHPでの情報提供(補助金等)  ・ピッピネットでの情報提供(助成金情報等)	・県のHP【年1回更新】  ・ピッピネット【その都度更新】	【県】 ・広くNPOを対象とする補助金を県庁内、市町村へ照会、とりまとめ、年度当初にHP掲載  【センター】 ・ピッピネット及びピッピニュース(毎月発行)を通じて、情報提供を実施	【県】 ・NPOが対象となりうる補助事業等を網羅的に把握しているか不明	【県】 補助対象になる可能性があるなら積極的な情報提供を求める。	・NPO法人の20%以上が補助金収入を得る  ・NPO法人の20%以上が助成金を得る	県(県民生活・男女共同参画課)  センター
	② 国、県、民間等の助成金の情報提供	社会貢献活動団体が活動資金を確保するため、国、県、民間等の助成金の情報を整理し、ホームページ等により情報提供する。	・県HPでの情報提供(補助金等)  ・ピッピネットでの情報提供(助成金情報等)	・県のHP【年1回更新】  ・ピッピネット【その都度更新】	【県】 ・当課に情報提供のあったものは、助成金情報としてHPに掲載  【センター】 ・ピッピネット及びピッピニュース(毎月発行)を通じて、情報提供を実施	【センター】 ピッピネットの助成金情報は、県内外の団体が活用している。	【県】 今後も継続して情報発信を行う。  【センター】 今後も継続して収集発信を行う。	・NPO法人の20%以上が補助金収入を得る  ・NPO法人の20%以上が助成金を得る	県(県民生活・男女共同参画課)  センター
	③ 認定NPO法人への移行促進	認定NPO法人のメリット(税制優遇等)をアピールし、認定NPO法人への移行を促進する。	・NPO法人向けの認定取得セミナー等の実施	【年2回開催】	・NPO基礎講座(認定編)を開催日時:7月8日 参加者:13名  ・2015年1月22日現在の認定NPO法人は7法人	・認定NPO法人のメリットなどの情報発信	・セミナーやピッピネットなどを通じて、認定NPO法人のメリットをPRする。	・5年間で10団体の認定NPO法人追加	センター

実施項目	行動計画 (P)			取組目標	実行 (D)	評価 (C)	改善 (A)	H30年度の 目指すべき姿	実施 主体
	行動計画の 項目	実施内容(計画上の記載)	具体的な取組内容						
3 人材 育成	① 学校教育、 社会教育で の取組	学校教育や社会教育の場などで社会貢献活動についての知識の普及を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア学習の推進に向けた講座の開催(教員・市町村社協職員向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア学習の推進に向けた講座(教員・市町村社協職員向け) 【年1回開催】</li> <li>関係機関にシニア向け活動事例のパンフレットを配布 【年1回配布】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉教育・ボランティア学習推進委員会(2回開催)</li> <li>福祉教育基礎研修の開催 日時:7月9日 参加人数:18名</li> <li>福祉教育・ボランティア学習実践講座の開催 日時:8月10日 参加人数:43名</li> <li>福祉教育ブロック別情報交換会の開催(中央東ブロック) 日時:12月21日 参加人数:8名</li> <li>福祉教育ステップアップ事業 対象:高知市社協(平成26年～) 学校:南海中、潮江中、春野高</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との連携促進 より良い福祉教育を展開していくためには、教育委員会や学校など教育機関との連携をより推進し、実践につなげるための工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉教育の推進強化 福祉教育推進委員会で協議しながら、関係機関との連携、市町村社協の組織的取組、福祉教育を展開できる社協職員育成を着実に進める。</li> <li>来年度、市町村社協の活動状況を調査予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア学習を推進する人材を育成</li> <li>アクティブシニアの社会貢献活動への参加</li> </ul>	センター
	② NPO運営 関係の各種 講座の実施	NPO法人の運営に必要な知識等を学ぶ機会として各種講座を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>NPO実務講座の開催</li> <li>NPO経営塾及びNPO経営研究会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NPO実務講座 【年4回開催】</li> <li>NPO経営塾及びNPO経営研究会 【年各6回開催】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NPO実務講座の開催</li> <li>①会計初級コース 6月20日 参加:11団体17名</li> <li>②税務コース 6月27日 参加:15団体19名</li> <li>③労務法務ベーシックコース 6月27日 参加:11団体15名</li> <li>NPOブラッシュアップセミナー「コラボレーションはじめの一步講座」 1月9日 参加:10団体13名</li> <li>NPO経営塾の開催</li> <li>①クラウドファンディング編 参加:10団体10名</li> <li>②助成金編 予定日時:平成28年2/16, 22, 3/7</li> <li>NPO経営研究会 第1回 6月24日 13名 第2回 8月26日 9名 第3回 10月28日 7名 第4回 12月16日 9名 第5回 平成28年2月24日 予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者数が伸び悩んでいる。必要な組織へ必要な情報が届いていないのではないかと。紙媒体による広報の限界がある可能性もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ターゲットの明確化</li> <li>SNSの活用</li> <li>より効果的に展開できるよう構成や内容の見直しを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NPO法人の25%以上が受講済みとなる</li> <li>毎年新規参加4団体</li> </ul>	センター
	③ 地域活動の 担い手とな る人材の発 掘、育成	地域の核となる人材に、社会貢献活動に参加してもらい、理解してもらい、退職後の団塊世代(アクティブシニア)に社会貢献活動に参加してもらい活躍の場を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関にシニア向け活動事例のパンフレットを配布</li> </ul>	【年1回配布】	NPO基礎講座等でシニア向け活動事例パンフレットを配布した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業等の退職前世代への社会貢献活動の参加を促していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の退職前世代の方々にナツボラキャンペーンの案内を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクティブシニアの社会貢献活動への参加</li> </ul>	センター

実施項目	行動計画 (P)		取組目標	実行 (D)	評価 (C)	改善 (A)	H30年度の 目指すべき姿	実施 主体	
	行動計画の 項目	実施内容(計画上の記載)		具体的な取組内容	実施状況や事業の効果	課題等			今後の取組
4 団体相互の 交流連携	① インター ネット掲 示板を 活用し た情報 交換	こうちボランティア・NPO情報システム「ピッピネット」やSNS(※)を介した情報交換の場を設ける。	・ピッピネットの運営	【その都度更新】 ツイッターにより情報提供を行った。				・NPO間の相互理解の増進	センター
	② NPO同 士の交 流の場 づくり	NPO同士のつながりや連携を深めるための交流の場を設ける。	・NPOフォーラムの開催 ・高知県東部ボランティア・NPO交流会の開催 ・東部、西部での研修会・交流プログラムの開催	・NPOフォーラム 【年1回(200人)開催】 ・高知県東部ボランティア・NPO交流会 【年2回開催】 ・東部、西部での研修会・交流プログラムの開催 【年各2回開催】	【センター】 NPOフォーラム2015を開催。テーマ「NPOのシンカのカタチ」2015年12月12日 参加者:113名 高知県東部ボランティア・NPO交流会を開催。(10月20日) 東部、西部でそれぞれ交流会を開催する予定。 西部(2月5日) 東部(3月3日)  【ネットワーク】 こうちNPOフォーラム2015 2015. 12.12開催 [NPOのシンカ(進化・深化・真価)のカタチ] 高知県西部NPO支援ネットワークとしては第3分科会「大規模災害時に問われる連携の真価～多様なセクターとの連携を考える～」に話題提供者として出演 東日本大震災時の取り組みを参考に県内での災害ボランティアセンターの取り組みの再構築  【市民会議】 NPOのシンカ(進化・深化・真価)のカタチをテーマに、人々の暮らしに直面する様々な課題に取り組む高知県のNPOが一堂に会し、高知の課題に向き合い、その解決に向けたNPOの役割を見つめ直し、NPOのシンカのカタチを考え、実践できることを目指し実施した。	【センター】 交流の場への参加者が少ない。NPOの他とつながるとい意識が希薄になっていることと併せてPR不足が考えられる。  【ネットワーク】 県内のNPO・行政等の協働の場としての取り組みの弱さ  【市民会議】 分科会1の「学生時代にNPOを立ち上げた先輩から学ぶ～『なにかやりたい』のその先へ～」は、大学生や若者の参加が多く、学生時代にNPOを立ち上げた先輩方の思いや実践経験談を聞くことができた。分科会2の「アナタのNPO、仲間内の活動になっていませんか?～ファンドレイジングとNPOの深化～」は、これからNPOを立ち上げたい方にも参加していただいた。	【センター】 参加につながる魅力的な交流プログラムを考えると併せ、他団体とのコラボ・連携が団体の発展につながるという意識の醸成、またマスメディアやSNS等活用した効果的なPRを行っていく。  【ネットワーク】 災害をテーマに行政との協働推進に  【市民会議】 ・実行委員が少ないので、来年度はいろいろな方に声をかけて増やしたい。また、今回は若い世代の参加が多かったため、その方たちに声をかけてみてはどうか。 ・コンセプトを明確にして広報に繋げ、参加者にとってのメリットを考えてみる	・NPO間の相互理解の増進  ・東部地域での中間支援組織設立  ・東部でのNPO増加	中間支援組織 センター

※SNS… Social Networking Serviceの頭文字をとった表現で、個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援する、インターネットを利用したサービスのこと。  
趣味、職業、居住地域などを同じくする個人同士のコミュニティを容易に構築できる場を提供している。